

BI YO RI

やましろ日和

～宇治茶のある暮らし～ 創刊号

宇治茶がつなぐ地域の絆

～「縁庵（ゆかりあん）」を訪ねて

～宇治茶道場「匠の館」をご存じですか？

イベント報告 宇治茶のある暮らし

座談会

宇治茶のミライ

もくじ

表紙・表紙裏 「みかえりうさぎ」・「細露すすき」
協力:京からかみ丸二

ごあいさつ	2
もくじ	3
座談会 宇治茶のミライ	4
宇治茶がつなぐ地域の絆	8
「縁庵(ゆかりあん)」をたずねて	8
宇治茶道場「匠の館」をご存じですか?	10
宇治茶ブランド拡大協議会と申します	12
イベント報告「宇治茶のある暮らし」.....	12
気候変動に備えよう	14
宇治茶にまつわる古い記憶を再現	15
編集後記	15



玉兎は、京都の長い歴史の中で伝承される宇治茶の
製法から生まれた「宇治玉露」を使用しております。
厳選された本葉と高い製茶技術から生まれた至極のお茶は、
独特の香りと風味豊かな旨味を堪能していただけます。

京都府・公社・京都府茶業会議所・
京都府茶協同組合 共同開発

JAPANESE TEA UJI GYOKURO
TAMAUSAGI

お問い合わせ | 京都府茶協同組合

京都府宇治市宇治折居25番茶業センター内 TEL 0774-23-7711 FAX 0774-23-7732

じあいさつ

京都府山城地域のみなさま、
はじめまして!

「やましろ日和（ひより）」
は、長い年月を宇治茶と共に歩
んできた“山城地域の暮らしの
文化”に照準を合わせ、地域の
皆様の目線にたって素晴らしい
資源を再発見する情報誌を目指
し、令和五年の春に船出をいた
しました。

都市・まち・むら・沿線・商
店街などを構成する一人ひとり
が地域に抱く誇りや愛情・愛着

本誌が、山城地域の“宇治茶”的
ある暮らし”に彩りを添え、
地域のみなさまの“シビックプ
ライド”を育む一助となること
を、心より願つてやみません。
ご愛読のほど、どうぞよろしく
お願い申し上げます。

宇治茶ブランド拡大協議会



宇治茶の ミライ

〈消費者の日本茶離れ・日本茶業界の危機〉が叫ばれるようになったのは、いつ頃からでしょうか。あらためて問い合わせをしてみますと、聞きなれた言葉として既に広く定着してしまった感があります。

日本茶の最高級ブランドとしての宇治茶を取り巻く状況も、残念ながら、例外ではありません。
「やましろ日和」創刊号のトップを飾る企画として、宇治茶業界の次世代を担うお三方に、「宇治茶のミライ」への思いを、自由に語り合って頂きました。

座談会



※座談会は間隔を取り充分に換気を行うなどの配慮の上、実施いたしました。

コロナの影響

本日は、お立場の異なるお三方に集まつて頂きました。まずは皆さん、コロナ禍にどのような影響がございましたか？

辻俊宏さん…いやあ、とにかく雇用を維持することが大変でした。批判は色々ありました。うちでは政府の給付金は最大限活用させてもらいました。本当にありがたかったです。そのおかげで、観光客が急に戻つても、事業の再開が円滑になりました。

川邊佳秀さん…私は青年団（＝京都府茶業連合青年団）の活動に深く関わってきたのですが、コロナ禍の3年間は完全にストップ。審査技術大会も中止になりましたし、若手の育成についても止まってしまふたわけです。大きな痛手でした。ただ一方では、この時期に他業界へのアプローチを考えたり、なかなか以前には出来なかつたことにチャレンジする時間が作れた、ということもありますね。

辻 俊宏（つじ としひろ）

株式会社辻利一本店 代表取締役 宇治田原町在住
(一社) 京都府茶取引安定基金協会 理事長
京都府茶協同組合 理事 総務委員会委員長
日本茶インストラクター
■株式会社辻利一本店
<http://www.tsujiriichihonten.com/>
〒611-0021 京都府宇治市宇治妙楽 156 番地
電話：(本店) 0774-21-2121



川邊 佳秀（かわべ よしひで）

株式会社丸又園 代表取締役 木津川市在住
茶審査技術九段
【受賞歴】農林水産大臣賞（審査技術で3度）
■株式会社丸又園
<https://www.rakuten.co.jp/ujicha-marumataen/>
〒619-0204 京都府木津川市山城町上狛東岸下21
電話：0774-86-2069





明るい未来へ

コロナ禍を経て、ズバリ宇治茶のニヒライに向けての“次の一手”をどんなふうにお考えでしょうか。

辻：業界を挙げて“急須でお茶を”と取り組んできましたが、残念ながら成果が出たとは言い難い状況ですね。使われる切り口を広げていくことだと思います。点で飲むだけにあらず。つまり、飲料としてだけではなく、お菓子の材料としてのお茶、その代表としての宇治茶の未来には、まだまだ可能性を感じています。



菊岡 祐一（きくおか ゆういち）

碾茶農家 城陽市在住

日本茶鑑定士・茶審査技術六段

日本茶インストラクター

【受賞歴】平成27年全国茶品評会碾茶部1等1席

農林水産大臣賞（菊岡家としては9回の受賞）

辻：菊岡さんのところは、“手摘み”って全部手摘みなの？

菊岡：そうなんですよ。

辻：オトコマエやなあ（笑）。

菊岡：実は、機械を入れることも考へるんですが、逆に機械でやる場合のやり方がわからなくて…。後を継ぐ方がいなくて、茶園を手放す農家さんも増えています。その茶園を引き受けたりもしています。

川邊：確かに、リーフのままである若い世代は飲みませんよね。家庭に美味しいお茶を広げたいという思いはあります。未だひとつ壁を乗り越えてないように感じています。家庭での淹れる手間、片づける手間、そういう点では、新しいものはティーバッグには勝つていません。そう考えると、“まずは美味しいティーバッグを売りたい”と思っています。ギフトにもなるような“いいもので、美味しい、手頃な価格帯で、しかも簡単に飲めるようなものの開発を業界として取り組んで頂きたいです。

国内では、コロナ禍の期間中、果ごもり需要が伸びたと伺っていますが、業界として、海外への宇治茶の輸出については、どのようにお考えでしょうか。

辻：うちの売り上げは、卸が大半で、小売は非常に限られているのですが、インバウンドのお客様の日本茶への関心は年々高まっていることを実感しています。

川邊：海外でのお茶の売れ行きは好調なんですよね。

菊岡：すみません。ここで再び生産者寄りの話になるんですが（笑）、個人的には、“海外市場に向けた農薬の使い方”に取り組む必要があると思っています。輸出のハードルを高くしているのは、海外で使われていない農薬のせいなんです。日本で使われている農薬の安全性を海外でも認知してもらうために、業界としての努力、国としての更なる援助を期待しています。

生産者として、ぼくもがんばります。皆様の建設的なご意見が、業界の新たな展開に反映されますよう願っています。本日は有難うございました。

菊岡祐一さん：ぼくは、生産者ですので、また全然違う話なんですが、コロナ禍の茶摘み、製茶は大変でした。うちは手摘みの茶園なんですが、ベテランのお茶摘みさんは高齢の方が多くて、ご本人がお元気でやる気満々でも、ご家族に外出を止められたりして、人数が集まらなかつたんです。人数が集まらないと、当然茶摘みが遅れます。初めはコロナとの戦い方がよく分かっていなかつたこともあります。僕が濃厚接触者になるわけにもいきませんでした。製茶の時期は工場で寝泊まりしていました。



宇治茶がつなぐ地域の絆

ゆかりあん

縁庵をたずねて

宇治には、隣接する木幡と五ヶ庄の二つの地区に、「許波多（こはた）神社」があります。このうち、木幡駅近くの許波多神社の方の鳥居をくぐり、参道奥の左手に進むと、「縁庵（ゆかりあん）」が見えます。

運送業を本業とする宇治吉田運送さんを訪ねて、宇治茶と茶文化を楽しむ「縁庵」開業のお話を伺いました。

—吉田實子さん、岡麻子さん、お時間を頂き、有難うございます。実は吉田会長さんのお噂は、「働きたいおんなたちのネットワーク」創設者の吉田秀子さんから、随分前に聞いていたんですよ。



考えを巡らせていた時に、ふと思いついたのが茶業を営んでいた祖父のこと！祖父がお茶との御縁で宇治に育てて頂いたのだから、その恩返しをしたいと伝え理解してもらいました。

(岡) それからが、大変でした(笑)。

新社屋の隣にあった50坪ほどの古い倉庫のリニューアル計画は、〈本格的な茶室を創りたい〉といつ会長の強い意志を尊重し、幾度となく軌道修正し、ようやく完成しました。

—苦労なさった甲斐がありましたね。「縁庵」の空間は素敵です。地域の皆さんは、どのように利用なさっていますか？

(岡) はい、母は「これだ！」と思ったら、何も考えずに猪突猛進型の人です。そういう訳ですから、会長が〈地域の方々が、気軽に宇治茶と茶文化に触れることができる場を創りたい〉と急に言い出しても、社員の理解を得るのは難しかったんですよ(笑)。

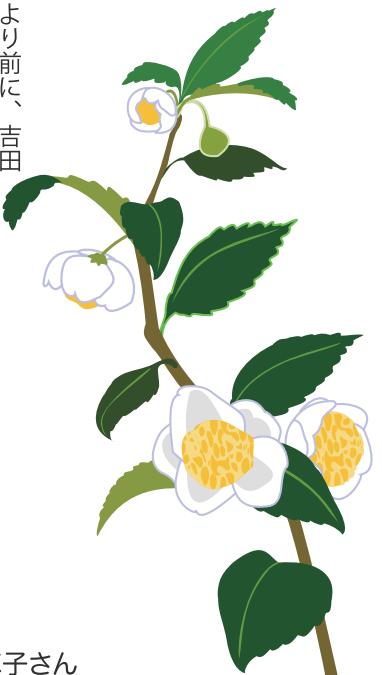
(吉田) うちは社員が家族ですから、どんなに猪突猛進型の私でも、やはり家族に理解し、納得してもらうだけの根拠が必要でした。

—今後の展開に期待しています。楽しいお話を有難うございました。

(吉田) あら、「縁庵」より前に、吉田秀子さんを通じて、御縁があつたんですね。彼女からは「子育て期の家族が、安心して引越しができるサービスが欲しい！」とのリクエストがあり、そういう仕組みと一緒に作りました。

宇治吉田運送は、父の代に創業してから60年。文字通り、人と人との御縁に支えられてきました。

父から私が事業を継承してからも、〈御縁を大切にする〉ことが事業の基本になっています。その他のこととはあまり考えずに、ひたすら走り続けてきました。おそらく、傍で見ていた家族は、とても不安だったと思います。



(写真右上)偶然居合わせた宇治マダムの皆様。撮影にご協力いただきありがとうございました。



(写真左)取締役会長 吉田實子さん (右)代表取締役 岡 麻子さん

宇治茶道場「匠の館」を「存じですか？

宇治茶がつなぐ 地域の絆

世界文化遺産の宇治上神社と平等院の近くを散策していると、重厚感がひとときわ目立つ和風建築に遭遇！ これは、昭和初期に建てられた京都府茶業会館で、宇治茶にまつわる様々な活動の場として利用されています。

今日は、隣接する宇治茶道場「匠の館」の魅力を再発見！ 活躍している一人の日本茶インストラクターさんを訪ねて、宇治茶体験の手ほどきをお願いしました。



日本茶インストラクター・リーダー
村田仁美さん



▲宇治茶道場「匠の館」館長補佐のお二人

— 村田範子さん(N)、村田仁美さん(H)、
ようしくお願いします。先ず、匠の館ではどんな体験ができるんでしょうか？

(N) 通常の喫茶メニューでお越しになる方にも、体験型になっていますので、ちゃんとお茶のお話をいたします。宇治玉露・宇治抹茶・宇治煎茶のいずれかを味わって頂きます。

これとは別に、一回で3種類を飲めて、お茶の話をじっくり聞ける「お茶の淹れ方教室」という一時間半コースがございます。他に、抹茶のメニューに濃茶が付いていて、濃茶で絵を描く「抹茶アート」のコースや、「茶香服(ちやかぶき)」というお茶を当てる「ースもあります。体験教室のプログラムは事前に予約が必要ですが、宇治川を眺めながらの喫茶はいつでもご利用いただけますよ。

— 主にどんな方が利用なさっていますか？

(N) 口口ナ前は中国からの方が多かつたのですが、現在は本当に世界中からです。

— いかがでしょう、「ビジター・観光客」ではなく、山城地域の皆さんに一言…

(N) 宇治茶は、宇治地域で発明され日本中へ広まったもので、どんなに美味しいものが知りたい。お茶を通して生まれる対話の時間の豊かさを知るきっかけとして、是非、「匠の館」にお越しください。

(H) 山城地域は日本茶のふるさとだとうことを、もつと自慢に思つてもういたい。できたら、地域のお子さんたちに急須で宇治茶を楽しみ、日本文化としてのお茶に触れていただきたいなあと思います。— お忙しいなか、有難うございました。
また改めて寄せていただきます！

(H) 実は、日本茶インストラクター仲間や、これから新しく勉強しようという方々も、先ず「匠の館」に来たら基本的なことを教えてもらえるということで、各地からいらっしゃいます。これは、18年前に開店して以来、スタッフたちが丁寧に対応してきたおかげだと思います。

(H) 実は、日本茶インストラクター仲間や、これから新しく勉強しようという方々も、先ず「匠の館」に来たら基本的なことを教えてもらえるということで、各地からいらっしゃいます。これは、18年前に開店して以来、スタッフたちが丁寧に対応してきたおかげだと思います。

日本茶インストラクター・リーダー
村田範子さん

ご予約・お問い合わせ

0774-23-0888

喫茶メニュー(お菓子付き) 宇治玉露、宇治抹茶、宇治煎茶
抹茶アート(お菓子付き)

「茶香服」、「お茶の淹れ方教室」、「ホットプレートで製茶体験」については要予約

営業時間：11:00～17:00(L.O. 16:30) ※10名以上の団体予約は16:00まで
定休日：水曜日、年末年始(12/29～1/4)、お盆(8/14～8/16)

P : 5台

アクセス：京阪宇治駅から徒歩約3分、JR宇治駅から徒歩約15分

住所：〒611-0021 宇治市宇治又振17-1



宇治茶道場
匠の館

宇治茶ブランド拡大協議会と申します

宇治茶ブランド拡大協議会は、宇治茶産業の競争力強化と、ブランド力向上に向け、生産者を核とする茶業界が一丸となって新たな事業展開体制の確立を目指し、2014年4月に設立されました。

in 南山城村

道の駅お茶の京都みなみやましろ村
フェアフィールド・バイ・マリオット・京都みなみやましろ

2023年2月19日



◀ ▲宇治茶の無料接待、手揉みの実演、抹茶づくり体験、協議会活動ビデオの上映等、多くの皆様にご参加いただきました。

イベント報告 宇治茶のある暮らし

宇治茶のある生活を想像しながら
ほっこりとお楽しみください

協議会の活動紹介ビデオを通して宇治茶の歴史を学び、玉露の茶葉を使って美味しいお茶の淹れ方を体験していただきました。



in 中宇治yorin
2022年10月22日



▼この日のために、特別に作られたひなまつりのオーナメント(飾り)キットには、宇治茶の郷を意識して急須の形も加えられていました。



協議会としては、山城地域の幅広い年齢層の皆様に向けた初めての取組でしたが、この経験から多くを学ばせていただきました。
どうぞ、次年度の協議会の「次の展開」にご期待ください。



協力事業: 京の七夕in宇治
宇治市文化センター
2022年8月9日

旧暦の「七夕」に行われたイベントでは、「五節句に宇治茶を！」をテーマとした美しい展示が披露されました。

宇治茶にまつわる 古い記憶を再現

皆様のご家庭に、使われなくなつた古い宇治茶資料（書籍・写真・絵葉書等）がございましたら、ぜひ、当協議会までご連絡ください！
引き続き、山城地域に眠る宇治茶にまつわる古い記憶の掘り起こしと、保存、活用に取り組んでまいります。

編集後記

宇治茶ブランド拡大協議会

会長：森下康弘
副会長：下岡久五郎
吉田利一
監事：西村好史

<編集部> 極山映一
戸塚浩司
高木啓暢
モナト古閑久美子
花田幸
山森友美
<撮影> 宇佐美直八
<制作> 株業態開発総合研究所

私たち宇治茶ブランド拡大協議会は、設立から十年目を迎えるにあたり、改めて協議会の活動を広く地域の皆様にお伝えし、同時に皆様の声を汲み入れていくような取組に着手する運びとなりました。
山城地域の皆様の「宇治茶のある暮らし」に彩りを添えるような情報誌を目指しますので、今後の展開に向けてのご支援と御協力をお願い申し上げます。

先人たちが大切に守ってきた宇治茶の文化を次世代へとつなぐために、様々な古い写真や資料、カセットテープなどを、触れやすく、活用しやすくするために、デジタル化する事業を通して、宇治茶の文化の継承を目指しています。



「宇治茶」の歴史と
記憶を次世代へ！

気候変動に備えよう



気候が変わっても
「良質な宇治茶」を育むために

宇治茶ブランド拡大協議会では、発足した平成26年度、2015年の3月より、京都府山城地域内の茶園に「気象観測装置」を設置し、外気温、降水量、など12要素の気象データを計測してデータを蓄積しています。計測されたデータはパソコンやスマートフォンからも見ることができ、10分おきに更新されます。

観測器の設置は、現在までに14台設置し、集められたデータは、気候変動の状況の

把握や宇治茶の生産力向上に役立てることを目指しています。また宇治茶に深刻な被害をもたらしている霜についても、これらデータを活かし、対策に活かせる未来を思い描いています。

この気象観測装置からのデータは、京都府内の宇治茶の生産者であれば、誰でも利用できるよう、許可を得て公開されています。興味のある方は、宇治茶ブランド拡大協議会までメールでお問い合わせください(ujicha@qfkyoto.jp)。閲覧用のパスワードをお知らせいたします。



▲茶園に設置された気象観測装置から10分おきに観測データが送信され、スマートフォン等で確認できます。



発 行 宇治茶ブランド拡大協議会
UJI-CHA BRANDING ASSOCIATION

構成団体 公益社団法人京都府茶業会議所、京都府茶生産協議会、京都府茶協同組合、
京都府農林水産技術センター農林センター茶業研究所、宇治市産業観光部農林茶業課、
全国農業組合京都府本部農畜産部茶業市場課、京都府山城北農業改良普及センター、
京都府山城南農業改良普及センター、JA京都やましろ、
特定非営利活動法人京都・地球みらい機構

事務局 京都府茶協同組合 〒611-0021 京都府宇治市宇治折居25番
Tel: 0774-23-7711 ujicha@gfkyoto.jp

この冊子は「令和4年度京都府地域交響プロジェクト交付金」により制作されました。(2023年3月)